

# 委員会調査(研修)報告書

NO.

令和 5年 6月 5日

胎内市議会議長

小野 徳重 様

(報告者) まちづくり常任委員会

委員長 坂上 清 一

まちづくり常任委員会所管事務調査 について、  
議会会議規則第110条により、下記のとおり報告します。

調査・研修 日 時	自 令和 5年 6月 5日	調査・研修 場 所	地域おこし協力隊：全員協議会室
	至 令和 5年 6月 5日		樽ヶ橋遊園：樽ヶ橋遊園
	地域おこし協力隊 13:30~14:30		
	樽ヶ橋遊園 14:50~15:30		
調査・研修 事 項	地域おこし協力隊の活動について		
	リニューアル後の樽ヶ橋遊園について		
調査・研修 出席者(参加者)	まちづくり常任委員会 (10名)		
	委員長 坂上清一、副委員長 森本将司、委員 渡辺宏行、天木義人 渡辺栄六、羽田野孝子、坂上隆夫、笈智也、増子達也 議長 小野徳重		
相手方(対応者)	地域おこし協力隊 (5名) 森麻衣子、永野久美子、重田爽歌、 椎谷陽一、永田雄太 総合政策課南波課長、諸橋係長		
	樽ヶ橋遊園 商工観光課池田課長、齋藤係長、加藤主任、比企主任		

調査の結果または概要

地域おこし協力隊

今年度は4つの部門で募集をおこない、新たに4名の隊員が着任した。既存の1名についてはコロナ禍による特例により4年目となる今年度も活動するとのことである。

主な活動内容としては地域活動の支援、交流促進、移住定住促進、新規就農・地域の活性化、ぶどうとワインの生産と多岐に渡るとのことであった。

樽ヶ橋遊園

昨年度に完全リニューアルオープンを果たし、入れ込み客数、売り上げ額についても大きく伸びている。しかしながら利益については新たな施設の維持管理費や増員により、かろうじて黒字ということである。

来場者の居住地の割合としては新潟市が4割と最も多く、行動制限の無い今後について市外の誘客がより見込めるものとする。

また期待されていた喋る鳥については、調教が上手くいかず客先に出せないとのことだった。

調査の所見・感想

地域おこし協力隊

それぞれの職務分掌がある中で、有機野菜を作りたい、英語で動画配信をしインバウンドに繋がりたいなど明確な意思を持った隊員が多く良い方々に来ていただいたと思いました。コロナ禍もあり協力隊員と議会で意見交換をする機会がしばらくありませんでしたが、着任したら後はお任せではなくて議員も隊員としっかりと関わるため、今後も定期的に交流の機会を設けるべきと感じました。

樽ヶ橋遊園

客数は増加している中でも駐車スペースについてしっかりと確保されてはいるのは良いと思いました。しかしながら施設の構造上、抜けることができないため、場所によっては行き帰りでもかなりの距離を歩かなければならないので抜けられるようになると良いという意見もあり、今後、検討の余地があるように思いました。